ぶんじライブラリー

国分寺高校図書館だより　　２０１８．１１月号

★読書の秋、本番です！

１０月２７日～１１月９日は秋の全国読書週間です。この期間、ぶんじ図書館でも読書週間イベントをやっています。館内では図書委員のおススメ本も展示する予定です。図書館に来てね！

英語多読図書１００冊を都立多摩図書館よりお借りしました！

図書館の本と同じように貸出できます。３月まで！図書館には他にも３００冊以上の洋書があります。こちらも使ってね。

今月の新着図書より

新着図書の中から司書がおススメする本を紹介します。

019－モ
『読書の価値』
森博嗣／著　NHK出版

森博嗣氏は、国立大学の工学部助教授（現在は退職）のかたわら、『すべてがＦになる』など数々のベストセラーを出した異色の小説家。彼が自身の読書についての経験や、読書の考え方、本を作る側からみた出版について書いたのが、今回の本だ。いわく、「本との出会いは、つまり人との出会いと同じだ」、「本はすすめられて読むものではない」。…司書としては、おススメ本として本書を紹介しているので、大いに矛盾するところだ。彼の主張する、読書における体験は全て個別の体験で、他の人と同じ体験ができるわけではない。ので、自分の判断で読むものを決めよという態度には、大いに納得できる。読書というもの本質をとらえ、自身の読書をどう確立するかを考える本として、一読の価値がある。